

この度、2015年12月12日(土)～13日(日)に札幌医科大学で行われた、NPO 法人 MERI Japan による脊椎 MIS Cadaver Seminar に参加させて頂きましたので、ご報告致します。

今回 2015 年 1 月に続き 2 回目となる本セミナーですが、恥ずかしながら私自身、名古屋第二日赤病院の佐藤先生にお誘いを頂くまでは、日本で Cadaver セミナーを開催していることを知りませんでした。とても魅力的なセミナーでしたのですぐに申し込みましたが、学生時代の暗い解剖実習室と匂いを思い返し、表現は良くないですが「カチカチのご献体でトレーニングが可能なのかな？」など、不安も入り混じって当日を迎えました。

今回も様々な卒後年数の脊椎外科医が全国から集まりました。セミナーは、MERI Japan 常務理事の蜂谷先生のお話から始まり、日本で Cadaver トレーニングを行う必要性と実現までの長く険しかった道のりを熱く語って頂きました。続く札幌医科大学解剖学第二講座の藤宮教授の「ご献体を学生実習だけでなく、医療技術習得のために使用できるまでの道のりや実習環境の整備」、蜂谷先生の同級生の大塚参議院議員の「Cadaver をめぐる国の対応の経緯」を聞きながら、様々な領域の方々が長い間をかけて積み重ねてきた、医学教育や医療技術の安全な習得、そして患者さんへの提供に対する思いが一つの形となって結実した貴重な時間に、自分が参加できるということを感じ、身が引き締まる思いでした。

その後午前中は、MIS においても第一線で活躍されている、豪華な講師の先生方より、「内視鏡手術の基本と応用」、「MIS-TLIF/PLIF」、「OLIF」、「XLIF」の各 20 分の講義があり、午後から実習が開始しました。

実習は 1 テーブル毎に、ご献体 1 体、講師 1 人、受講者 3 人で行い、時間は 1・2 日目ともに約 4 時間ありました。ご献体は Thiel 法という固定がされており、筋肉を含めた組織が柔らかいため生体に近い感触で、匂いも少なかったです。またとても明るく綺麗な実習室でした。名古屋第二日赤病院から手術室看護師、はちや整形外科から手術室看護師と放射線技師が帯同し、器械出しのサポート、X 線撮像を行って頂き、挿入した PS やケージの位置確認が出来ました。その他、開創器を含めた手術器具も普段使用しているものを用意し、実際の手術に近い状況でトレーニングできるように配慮されてありました。セミナー申込み時に、「MIS-TLIF/PLIF+PPS」と「XLIF/OLIF+PPS」のいずれか、もしくはその両者の選択ができました。私は両日とも前者を選択しており、1 日目は佐藤先生、2 日目は石井先生にご指導を頂きました。はじめに講師の先生にデモンストレーションして頂き、続いて 3 人で順にトレーニングを行いました。MIS で除圧した後に OPEN にしてみても除圧範囲を確認したり、細かな Tips・Pitfalls を直接教えて頂きました。その他、腸骨や頸胸椎のスクリー挿入なども行い、濃密な実習となりました。

1 日目の夜には、会場をホテルに移して懇親会が行われました。ここでは、1 人 2 分で受講者の自己紹介の時間が設けてあり、スライドの使用も可能でした。それぞれの先生の経歴や趣味などを知ることができ、盛り上がりました。また、講師の先生方はじめスタッフの方々から様々な話が聞け、交流を深めることができました。

脊椎外科においても MIS の流れが加速し、技術も医療機器も日々進歩しています。もともと術野が狭い脊椎手術において、また医療現場の限られた状況の中で MIS の手技を修練することが難しいものであることは、どなたも感じていると思います。このような中、本セミナーは 2 日間に凝縮された上で多くの時間が実習に当てられていて、第一線の先生方から、直接指導を受けながらトレーニングができた貴重な機会でした。Cadaver トレーニングに参加したいと考える医師の中には、日頃休みも少なく、病院を空けることを気兼ねし、費用も抑えられていたほうがありがたい年代(?)の方も多いと思います。海外で行われるセミナーに赴くよりも日常診療に支障を来すことが少なく、身体的負担も少なく、費用面でも数分の 1 であると思います。さらに、ここに書くまでも無い事ではありますが、日本で Cadaver トレーニングを受けることが可能になった意義も大きいです。(詳細は MERI Japan ホームページをご覧くださいと思います。) 今後もこのようなセミナーが増えていくことを望みますし、周りの先生方にもぜひお勧めしたいです。私自身も機会が得られれば、また参加したいと思います。

最後になりますが、第 2 回 MIS Cadaver Seminar で御指導頂きました講師の諸先生方、サポートして頂きました皆様に、この場をお借りして深謝致します。



講義の様子



実習の様子



講師・受講者での記念写真

(札幌医科大学倫理委員会承認セミナーにて撮影しました)